

「Wish&Hope&Desire&Prayer」

～失われる前に！！～

ルカ：1：5－20

今日のメッセージのタイトルはすべて「願い」という意味です。Wish（単純な心にある願い）は Hope（それができることを望む）へと成長し、さらに Desire（切望・強く求める）となり、そして最後に Prayer（祈り）になるのです。香を焚くと上へ上っていくように、祈りが唇から出て天に積まれていくのです。

■ザカリヤ…

御使いガブリエルがザカリヤに現れて語ったことは、ザカリヤが長い間ずっと願ってきたことでした。現在は、子どもがいないということにも意味があり、神様の栄光が現されるということがわかりますが、当時、イスラエルにおいては子どもは祝福の象徴であり、子どもがいないということは非常に辛いことでした。国家権力の中に立つ祭司であったザカリヤはどんなに悪く言われていたことでしょうか。けれど、ザカリヤはふてくされずに正しく生きていました。そして、子どもが与えられることを願っていました。ところが、それはとても長い年月だったので、願いつつ、あきらめつつという感じでした。そんな時に御使いガブリエルがやってきて「あなたに男の子が与えられる。」と言ったのです。その時にザカリヤが語ったのは「私はもうこんなおじいちゃんです。それを知ることができるでしょうか？」という言葉でした。それを聞いたガブリエルはザカリヤを戒めました。そして、ザカリヤはこの時から男の子が生まれるまで言葉を話すことができなくなりました。それまで正しく生きてきたのに、願ったことが叫びそうになったら否定的な言葉を言い始めたのです。神様が天地万物をお造りになった時、一言の言葉で物事を始められました。「初めに、ことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。この方は、初めに神とともにおられた。すべてのものは、この方によって造られた。造られたもので、この方によらずにできたものは一つもない。」（ヨハネ 1:1-3）言葉が非常に大切であることを本当に知っていますか。発する言葉がちゃんと制御されているでしょうか。ザカリヤは絶対にできないことを神様に願いました。そして、神様はそれを叶えようとしていました。もし、ザカリヤがこれ以上否定的な言葉をしゃべり続けたらその願いは叶わなくなるので、神様はザカリヤから言葉をとったのです。

■長血の女性

当時、出血のある女性は汚れていると言われ、村の外に出されて、結婚も、仕事もできませんでした。この女性は12年もの間孤独の中にいました。けれど、癒されることを願っていました。そして、イエス様が来られた時にイエス様の衣の裾にでも触ることができたら癒されると信じ、必死にさわりました。イエス様は「私の衣に触ったのは誰か。」と言われました。その女性は「汚れるじゃないか！」怒られると思ったことでしょうか。今までイスラエルの先生と呼ばれるラビ達に祈って欲しいと願っても汚れた者として扱われてきたのですから…。その時、イエス様はその女性を「娘よ。」と呼びました。イエス様が癒したのは長血ではなく、徹底的に差別され親からも捨てられた彼女の「心」だったのです。私たちはとかく現状や外見や病が癒されることが神様からの力だと思いがちですが、神様が癒すのは「心」です。心が変わらなければ一時体が良くなっても元気にはなれません。

■①言葉に注意！！

言葉に気をつけるということは心に気をつけるということです。あなたの心にあることが言葉から出てくるのです。これが感情的な言葉です。言葉に気をつけ、正しい言葉を語りましょう。また、人から語られる言葉も捉え方が大切です。嫌な人から嫌な言葉を言われることもあるでしょう。誰からの言葉であったとしても、相手が何故その言葉を語ったのかを考え、さらに一步進んでその人を通して神様が何を語ろうとされているのかを祈っていく時に相手からの言葉はそれほど悪いものにも変わらないものです。「私たちはみな、多くの点で失敗をするものです。もし、ことばで失敗をしない人がいたら、その人は、からだ全体もりっぱに制御できる完全な人です。」（ヤコブ 3:2）言葉に失敗しなくなるように今日から願いましょう。その中でも私たちは弱いので失敗をしましょう。けれど、失敗した時が大切です。「神様ごめんなさい。」と言い、自分の心を戻して見張るのです。

■②今を生きる 後悔先に立たず！！

「未来」と「将来」の違いがわかりますか？未来とは「わからない先のこと」、将来とは「成るべくして成る」という意味です。成るべくして成る将来は、毎日が積み重ねられるのです。私たちは将来を受け取らなければなりません。将来が欲しければ自らが積み重ねなければなりません。イエス様は言われました。「だから、あすのための心配は無用です。あすのことはあすが心配します。労苦はその日その日に、十分あります。」（マタイ 6:34）その日その日を正しく生きることがあなたの将来をはやくつくりまします。家を建てる時と同じです。基礎を作る時に焦って屋根を作っても意味がありません。私たちは「今日」やらなければならないことがあるのです。

■③人とは違う者に！！

私たちは人より優れた者になろうとします。けれど、神様はそのようなことを願ってはおられません。もともと私たちは皆違うように神様がお造りになられたからです。太陽、月…どれも違う星で役割も違います。月がなければ地球の海が動いて循環することはできません。普段はあまり気にしない足の爪にも役割があります。爪がなければ歩くことができません。私たちがあの人のようにになりたいと思っているうちは何も変わりません。けれど、神様の姿になりたいと願い、イエス様が行われた一部分でもあなたが行えば、人によっては右の手を差し出す人に、病を癒す人に、共だつて歩く人に、人の心の痛みを感じ癒す人に、問題を問題だと伝える人に…なるでしょう。イエス様がなされたことは多岐にわたります。一人ですべてをすることは誰にもできません。だから私たちはその何か一つを神様から受け継いでいるのです。私たちは独立していなければなりません。誰かに依存して生きるのではなく、あなた自身が影響を与えて生きて欲しいのです。願ってください。すぐにはなれません。けれど、あなたが天国に行く前に神様は必ずそうさせて下さいます。